

令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県北会場

科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 未来を担う子どもの成長を支えるためには、地域社会と学校の連携が大事です。学校がコミュニティスクールとして地域と一体となって機能することで相乗効果が生まれ、良い関係を築くことができます。人口減少が加速し、地域コミュニティも崩壊するのではないかと心配になりますが、子どもの健全育成のために支援員同士が連携し、必要な情報を見極め、多様な体験活動を行いながら、子どもの安心安全を守り、学校・地域社会との交流も大事にしていきたいと思えます。
- ◆ 小学校や幼保との連携だけでなく、地域との連携の大切さを教えてもらいました。コミュニティスクールや地域学校協働活動等により、地域全体で子どもたちを育てるような制度が整っているのだと感じました。それに準じて、放課後の児童を支援する施設も閉鎖的ではなく、地域と積極的に関わりをもち、存在を認知して支援し合う関係になれば、理想的だと思います。地域コーディネーター等の存在に理解を深めていきたいです。
- ◆ 人口減少やグローバル化に伴い、学校や地域の抱える課題は複雑化、困難化してきており、社会総掛かりで未来を担う子どもたちの成長を支えることが大切であると学びました。学校だけでは成り立たないことも地域と協力し合うことで相互にプラスの関係を築くことができます。放課後児童クラブだけでできることには限りがあり、子どもや保護者が安心して生活できるように学校や地域と連携を深めて協力し合っていかなければならないと思いました。
- ◆ 放課後児童クラブだけでできることは限られますが、地域・学校・家庭などと連携していくことで、子どもを取り巻く様々な環境や悩みを理解し、子どもと一緒に育てていくことの大切さを学びました。人口減少に伴う様々な課題を学校・地域が一体となって機能することで、相乗効果が期待できると思いますので、子どもの健全育成を図るためにも活動を充実させ、連携していきたいです。
- ◆ 学校・地域との連携について、人口の減少・児童虐待の増加など、学校や地域が抱える課題が複雑化している背景があり、別々に問題に取り組んでいくのではなく、放課後児童クラブを含めて相互にパートナーとして連携・協働することが大切だと学びました。子どもの豊かな心・たくましい体を育成するために、例えば一日中放課後児童クラブに在るのではなく、体育館などを借りて遊ぶ体験を与えるなどして成長を促していくことも大切だと学びました。